

進んで体を鍛えるとともに、 健康で安全な生活を実践できる子の育成

関市立金竜小学校

1 学校紹介

本校は「刃物」「小瀬鶉飼」「円空」などで有名な岐阜県関市の西部にあり、清流長良川とその支流に囲まれた田園地帯に位置している。

「金竜」の名は、奈良時代にこの地を訪れた泰澄大師という僧侶が、上白金権現山に「金竜山白山寺」を建立したことに由来する。地域の歴史や文化を象徴する「金竜」の名を残したいという地域住民の願いが込められている。今年で創立60年を迎え、この学び舎に25学級672人の児童が在籍し、四季折々の自然豊かな環境で、健やかに育っている。

一小一中の校区であることを生かし、小中はもちろんのこと、家庭・地域の強力な連携・協力のもと、「思いやり活動SAVE（S清掃 A挨拶 Vボランティア Eエコ）」を合言葉に様々な活動を展開している。



【本校外観】

2 学校経営方針と健康づくり

本校の学校教育目標は「なかまのしあわせのために かしこく やさしく たくましく 生きる子」である。この目標の具現に向け、「教職員も児童も明日も来たくなる学校」「毎日、児童が宝物を持って帰ることのできる学校」を合言葉に、以下の3つを柱に力を入れて取り組んでいる。

- (1) 確かな学力を育む授業づくり
- (2) 自己肯定感・自己有用感を育む学級・学年づくり
- (3) 心と体の健康づくり

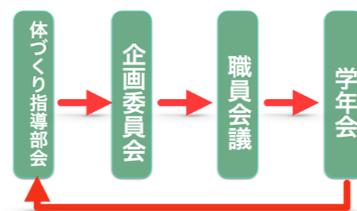
特に、(3)の心と体の健康づくりについては、本校の特色ある教育活動として位置付け、「進んで体を鍛えるとともに、健康で安全な生活を実践できる子」を目標に掲げながら「保健」「安全」「食」「運動」「環境衛生」に着目して積極的に健康づくりを推進している。



【本校のマスコットキャラクター“ゴドラ”】

3 健康づくりの推進体制

健康づくりは、主に「体づくり指導部会」が中心となって推進している。本部会では、各担当から健康づくりに関わる取組案が提案され、検討する。部会で検討された取組案を、企画委員会で体づくり指導部長が提案する。ここにおいては、取組案について、内容や



【健康づくり推進体制】

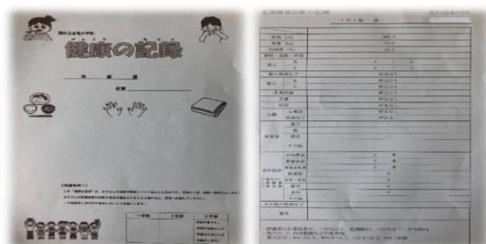
方法の検討、実施時期の妥当性、指導にあたって配慮すべきことなど様々な視点から検討している。そして、その取組案が職員会議で提案され、全教職員から承認を得て、周知・徹底されるようにしている。また、提案された取組案が、教職員の協力体制のもと確実に推進されていくために重要な場が学年会である。この学年会を通して職員の共通理解・共通行動を図っている。各学年で出された課題については、部会で改善策はないか検討し、次回の取組に生かしている。

4 健康教育推進の観点

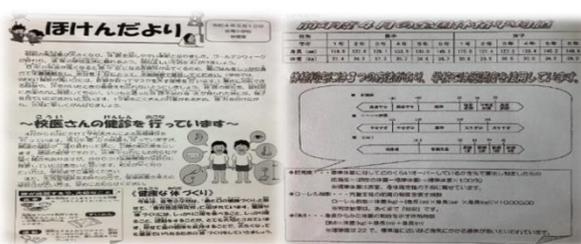
(1) 保健

①自分の体を知る健康診断と保健管理

本校では、ただ児童に発育測定や健康診断を受けさせるのではなく、保健教育として各学級にて健康診断をする意味やその大切さなどを伝える指導をしている。そして、発育測定や各種健康診断の結果を、健康の記録に記入し、児童と保護者に「ほけんだより」で知らせている。このことを通して、児童が自分自身の体について客観的に知ることができるようにしている。



【健康の記録】

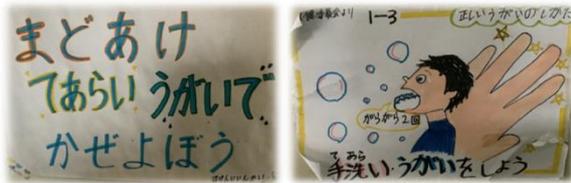


【ほけんだより】

②保健委員会による新型コロナウイルス感染症予防対策活動

児童による保健委員会の活動には、常時活動と創造的な活動の2つの活動がある。常時活動では、天候・気温・水質チェック、石鹼液の補充などを行っている。

コロナ禍における創造的な活動においては、児童が「自分の体は自分で守る」という意識を高めることができるよう、養護教諭が保健委員会の児童に感染予防対策を考えるよう呼びかけた。児童は掲示物や換気グッズを考案し、各教室に設置し、全校児童の予防意識を高めた。



【感染予防意識を高める掲示物】



【感染防止グッズ】

③歯と口の健康づくり

本校の児童にとって歯と口の健康づくりは「金竜小の誇れる宝物」となっており、この活動を形骸化させることなく、児童が口腔衛生に関心をもって、本校の課題である歯肉炎予防に関する理解を深めるとともに、歯と口の健康への意識と正しい食習慣への意識との関連を図る様々な活動を実施している。具体的には以下の通りである。

- i) 年2回の歯科検診での指導・助言
- ii) 学級による日常活動
 - ア 給食後の歯みがき（歯ピカタイム）
 - イ 歯ピカ週間における指導
 - ウ 関連教科（図画工作）での指導
- iii) 歯科保健指導
- iv) 栄養教諭による食に関する指導



【歯と口の健康づくり諸活動】

(2) 安全

①交通安全指導

児童は、定期的に行われる通学班会や月1回の各通学班長と分団担当による振り返りをする中で、交通安全への意識を高めている。各通学班には、毎年、関市西部地区交通安全協会から贈呈される。通学班旗には、本校のマスコットキャラクターである「ゴドラ」がプリントされており、黄色が目立つ旗であるため、ドライバーからの視認性も高く事故予防につながっている。2年に1回、小学校と中学校のPTA地区委員会が中心となって校区内安全マップを作成し、各家庭等に配布している。

マップには、通学路上の注意すべき場所が写真付きで掲載されているほか、不審者情報をもとにした危険な場所や子ども110番の家の場所を紹介している。これにより、各家庭に注意喚起を促し、安全意識を高めている。



【本校通学班旗】



【校区内安全マップ】

②委員会による自治活動

本校は、今年度672名の児童が生活をしている。特に休み時間などでけがをしたり、事故を起こしたりしないように、主担当から全校への注意喚起をはじめ、生活・保健委員会を中心に呼びかけを行っている。

しかし、昨年度は、けがをする児童が増加傾向にあった。屋内外問わず不注意によるもの、体力低下によるものも多く見られ、今年度は、けが予防の対策を強化し、経過を見ていく必要があった。そこで、今年度は上記の事実を保健委員会に伝え、児童自身が学校内でのけがが多いことに気付き、少しでも減らそうと考えることをねらった。そんな児童の意識のもと、けがが発生しやすいマップを委員会活動の中で考案した。これを掲示して全校に紹介し、注意喚起を行うことで、児童にどの場所でけがが多いか視覚的に分かりやすくし、気を付けて遊ぼうとする意識を高めることをねらった。



【生活委員会による廊下見守り活動】



【保健委員会が作成した“けがマップ”】

(3) 食

①食に関する授業

本校では、児童に栄養や食事の摂り方などについて、正しい基礎知識に基づいて自ら判断し、食生活をコントロールしていく、いわば食の自己管理能力を身に付けられる食に関する指導を行っている。こうした指導を、どの教科等で指導していくとよいか計画を立て授業を行っている。下の表は、栄養教諭がT2として授業にかかわった一例である。

学年	時期 (R3)	教科等	内容
1年生	2月下旬	特活	バランスよくたべよう
2年生	6月中旬	生活	やさいのひみつを見つけよう
3年生	6月中旬	総合	歯にいいおやつを考えよう
5年生	12月上旬	家庭	みそ汁のひみつを探ろう
6年生	7月中旬	特活	食育マイスター委嘱式

【食に関する授業一覧】

②給食委員会の取組について

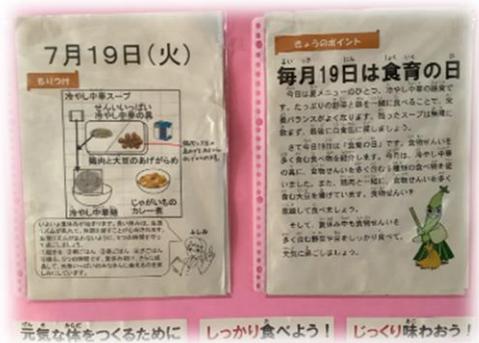
児童による給食委員会の活動には、常時活動と創造的な活動がある。

- ・常時活動…放送（献立紹介）、給食の片付け
- ・創造的な活動…歯を健康にするキャラクター募集

栄養バランスの取れた給食メニューの考案など

特に、常時活動の放送では、毎日給食の時間に、給食の献立が紹介される。

旬の食材や関市産あるいは岐阜県産の食材、食材に含まれる栄養素、食材にまつわる歴史など、その日の献立に関する内容を見童たちが楽しく紹介している。黙食しながら見童は、食に関する歴史や文化などを学んでいる。



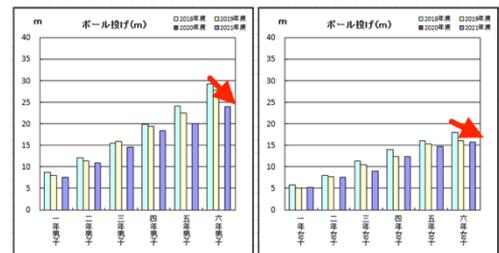
【毎日の献立紹介】

(4) 運動

今年度の4・5月に実施したスポーツテストの結果の分析を通して、コロナ禍において、児童の体力が年々低下していることが明らかになった。

その中でも特に、ソフトボール投げの結果を通して、「投」の運動が年々低下していること、20mシャトルランを通して「持久力」が低下していることが分かった。そこで、これらの課題を解決する方法を体づくり指導部会で話し合い、実践することとなった。

まず、「投」の運動を高めることにおいては、遠くへ飛ばすことのできる投げ方を知らない児童に対し、投げ方を矯正するための用具を購入し、体育の授業の準備運動の中で取り入れた。また、「持久力」を高めることにおいては、体育の授業以外の取組として、高学年を対象にして関市のふるさと学習「タグラグビー」を取り入れ、昼休みや放課後に練習するなどして、持久力を高めることをねらっている。



【スポーツテストの結果】



【用具を使って「投」の練習をする児童】



【タグラグビーに取り組む児童】

(5) 環境衛生

①心をみがく清掃活動

本校は、心の健康づくりとして「思いやり活動 S A V E」という取組を実施している。Sは心をみがく清掃活動、Aは心をこめたあいさつ、Vは自主的なボランティア、Eは地域を守るエコ活動である。ここでは、環境衛生活動の面から、S（心をみがく清掃活動）を紹介する。

S（心をみがく清掃活動）では、昼休み後の15分間、校舎をきれいにするため、一生懸命掃除をしている。「金竜拭き」というひぎを床につけ、雑巾を左右に動かして下がりながら力を入れて拭く方法を6年生から1年生へ伝え、ごみを残さずに拭く姿勢を身に付けていく。一人一人が「金竜拭き」を大切にすることで、校舎の環境衛生を保っている。



【金竜拭きを行う様子】

②岐阜県学校保健会による環境衛生活動調査

年度初めに、岐阜県学校保健会による学校の環境衛生活動調査が行われる。調査内容は保健活動のための体制や学校環境衛生が基準に満たしているかなどである。本校では特に、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、換気や校内の消毒等について学校薬剤師から助言を受けている。ご指導いただいたことを養護教諭が全職員に周知し、環境衛生が保たれるよう努めている。調査の結果、学校環境衛生優秀活動校として認定されている。



【優秀活動校 認定証】

5 まとめ

本校の60年の歴史を紐解いていくと、昭和50年に県の保健安全推進校の指定を受け、それ以降、健康づくり、とりわけ歯と口の健康づくりが今日に至るまで脈々と受け継がれている。毎年、児童・教職員が変わっても、児童主体の持続可能な取組となっているのは、確かな状況把握に基づいた計画や指導体制のもと、教職員の密な連携、家庭・地域の協力体制が確固たるものであることに他ならない。本校の健康づくりに関わってくださったすべての方々に敬意と感謝の意を表し、今後も健康で安全な生活を実践できる児童を育てていきたい。